

JDS(人材育成奨学計画)とは
開発途上国の将来の政策リーダー及び
親日派・知日派行政官育成事業です。

JDSの3つの特徴

1. 行政官限定事業 ※一部例外がございます

2. 5,000名以上21カ国の実績

3. 大臣・局長級を輩出

日本で専門知識を身に付け帰国した留学生は、
日本との政策対話に携わる等、
様々な場面で活躍しています。

対象国の社会・経済開発計画の立案・実施に関わる若手行政官が
日本で修士号または博士号を取得します。出身省庁は財務・経済、
法務、行政、環境、インフラ、教育等です。

帰国後特に活躍するJDS留学生(2022年6月時点)

国	現在の所属	現在の職位
ベトナム	外務省	副大臣
	計画投資省	副大臣
カンボジア	外務国際協力省	長官兼大臣官房長官
	経済財政省、経済統合局 / 国家最高経済評議会	副長官
フィリピン	内務地方自治省 計画サービス	次官補
ラオス	司法省	副大臣
	計画投資省	副大臣
バングラディシュ	道路交通橋梁省(所属先は人事省)	次官補
	商務省(所属先は人事省)	次官補
スリランカ	防衛省 国内治安・内務・災害対策庁 ガル・フォー・グラベッツ事務局	次官
キルギス	デジタル開発省	副大臣
	経済財務省	副大臣
ウズベキスタン	経済開発貧困削減省	副大臣
モンゴル	大蔵省	局長
	モンゴル国税庁	局長
タジキスタン	労働移民雇用省	大臣

※JDS(人材育成奨学計画)は、無償資金協力によるJICA留学生受入事業です。

帰国後活躍するJDS留学生の声



Ms. Shirin Amonzoda

タジキスタン労働移民雇用大臣
2016年立命館アジア太平洋大学
アジア太平洋研究科修了

帰国後はタジキスタンの観光業の発展に貢献した功績を認められ、労働移民雇用大臣に任命されました。留学中に学んだ他国の経験や政策などが自身の知見を広げ、それらを基にタジキスタンの国情に合った政策を策定しています。



Ms. Phonevanh Outhavong

ラオス計画投資省副大臣
2003年神戸大学大学院国際協力研究科修了

日本で恩師から教えてもらったこと、友達と意見交換した経験が、私の視野や考え方を広げ、ラオスの開発計画に様々な開発理論や経済モデルを適用することができるようになりました。帰国後には、日本政府関係者と一緒に仕事をする機会があり、日本との強い結びつきを常に感じています。



Mr. Lay Samkol

カンボジア外務国際協力省長官兼大臣官房長官
2008年立命館大学大学院 政策科学研究科修了

粘り強く、そして一生懸命に仕事に取り組むという日本人の価値観に触れたことは、帰国後には私の仕事の糧となっています。JDSのネットワークのおかげで、様々な文化に触れる経験もでき、そのおかげで自身の専門性や知識を最大限生かすことができました。



イベントの調整、アレンジ、言語サポートなどご要望に応じた提案を致します。
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ・ご相談

一般財団法人 **日本国際協力センター(JICE)**

留学生事業第一部 留学生事業課 広報担当

☎ 03-6838-2713 ✉ jds.PR@jice.org

JDS The Project for
Human Resource Development
Scholarship by Japanese Grant Aid



各府省庁の皆様と各国の行政官を
ネットワークでつなぎます

海外行政官

The Project for Human Resource
Development Scholarship

ネットワークングのご案内

将来のパートナーとなりうる開発途上国の親日派行政官と
つながることが可能です



Share knowledge and experience.
For our world. For the future.
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION CENTER

JDSで日本留学を経験した、開発途上国行政官（JDS留学生）のネットワークを活用しませんか。

“JDSネットワーク”は各省庁のニーズに応じて、様々な場面で活用できます。

滞日中のJDS留学生を活用する



滞日中の現役開発途上国行政官とのネットワークづくりのお手伝いをします。

- 我が国の政策や規格・技術のPR
- タイムリーかつ正確な現地市場情報収集
- 国際的な視野を育てる職員研修等でのご活用

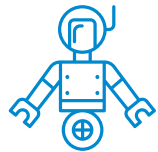
帰国したJDS留学生を活用する



各国で要職に就く親日かつ知日派の行政官におつなぎします。

- 現地開発ニーズのヒアリング
- 調査出張時等でのアポイントメント支援依頼
- 各国で要職に就くJDS帰国留学生とのネットワーク構築

早期からJDSネットワークを活用することにより、将来的に以下のような効果が期待されます！



日本の最先端技術の海外展開



円滑な外交交渉、国際会議運営



地球規模の課題を解決する人材の育成

活用事例

事例 1 国土交通省との意見交換会及び東京モノレール株式会社視察

2019年2月

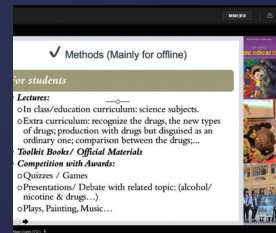
国土交通政策に関わる省庁出身のJDS留学生に対して、我が国の「質の高いインフラ」についてのインプットをするとともに、将来にわたるネットワーク構築を目的として開催。政策に関する講義を受け、その後実際に我が国のインフラ（東京モノレール株式会社整備工場）視察をした。



事例 2 第1回ユース国際研修参加

2021年8月

JDS留学生が日本人学生と共にオンライン研修「薬物に関連する犯罪の防止及び薬物からの離脱のための若者の取組について」に参加。海外の専門家等による講義やグループディスカッションを通じて、刑事司法や犯罪者処遇に関する国内外の取り組みや課題を学び、薬物問題について幅広い視点から理解を深めた。



事例 3 経済産業省若手職員研修実施

2019年8月

国際的視野をもつ人材育成の一環として、経済産業省の若手職員研修に、経済産業政策に関わる省庁出身のJDS留学生が参加。各国共通の社会課題について意見交換を行うことを通じて、英語での交渉能力の向上とともに各国のカウンターパートとのネットワーク作りを行った。

